

# 2026年度 心と体の健康づくり計画

## <はじめに>

労働金庫業態では、役職員等の健康増進への取り組みを戦略的な”投資”と位置づけ、生産性向上や医療費負担の軽減、さらに成長性ある企業としての社会的価値の向上を目指すために、『健康経営』を推進していくことを表明しています。

静岡県労働金庫は、業態共通の健康経営の指針「労働金庫健康経営宣言」にもとづき、宣言の具体化に向け、独自の行動計画として、「心と体の健康づくり計画」を策定し、健康経営推進最高責任者の先導により行動計画の実践を通じて、明るく闊達な職場づくりと、職員個々の心身の健康意識の醸成を中心に、健全でやりがい・働きがいのある就業環境の維持・向上に努めていきます。

### 「労働金庫健康経営宣言」 ～労金業態の健康管理指針～

- ◆労金業態は、「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」として、その社会的使命と役割を果たすために、職員が心身ともに健康で安心して働き続けることができる職場づくりを目指します。
- ◆各金庫・関連事業は、職員が心身ともに健康で安心して働き続けることができる職場づくりに向け、具体的な施策を積極的に推進します。
- ◆労金業態に働くすべての役職員並びにその家族は、ヘルスリテラシーの向上と健康な心身づくりを自律的に実践します。

## 【静岡県労働金庫の行動目標】

- 保健衛生委員会を毎月開催し、「心と体の健康づくり計画」の進捗状況の確認を含めた役職員の健康増進の取り組みを、労使協働で継続推進します。
- 職員が心身の状態をきちんと把握し、病気の予防や早期の発見・治療につなげるために、健康診断および再・精密検査の受診率100%を目指します。
- 働き方改革関連法施行等にあわせ、過重労働の防止とワークライフバランスの推進対策を進め、過重労働に係る産業医面談対象者数の削減を目指します。
- 受動喫煙の防止に向け、「完全分煙」を確実に維持します。
- 年度内に「ラジオ体操実施月間」や「健康強調月間」などを設定し、職員個々による健康増進意識の向上や、職場単位でのコミュニケーションの向上などを図ります。

## ■心と体の健康づくり推進体制および役割等

推進体制	役割等
職員	ストレスや心身の健康について理解し、自己の健康維持に努める。また、必要に応じて、上司や産業保健スタッフに相談をする。
健康経営推進最高責任者 (理事長)	健康経営の考え方や金庫としての想いを全役職員とその家族や関係者など、金庫の内外に訴えることで、健康経営の浸透を図る。
総括衛生管理者 (総務人事担当役員)	健康管理責任者・保健衛生担当者等を指揮し、人事労務部門・産業保健スタッフとの連携・協力により心と体の健康づくり推進活動を総括管理する。
健康管理責任者※1 保健衛生担当者※2 (以下ライン管理者という)	1. 部下が健康を維持できるよう、職場環境等の改善やストレスの軽減を図るとともに、部下との相談機会を設定し具体的な相談対応を行う。 2. 人事労務部門および産業保健スタッフと連携して発生した問題の解決にあたる。
監督職(主に係長)	部下の健康状態を把握し、具体的な相談対応を行うとともに、必要に応じて健康管理責任者や保健衛生担当者と連携して、適切な対応を図る。
人事教育グループ	職員、ライン管理者との相談機会を設定し、管理監督者だけでは対応が困難な問題(配置転換、人事異動等)や労働時間等の改善および適正配置を協議する。
人事教育グループ看護師 (メンタルヘルス推進担当者)	1. 職員およびライン管理者との相談機会の設定および具体的な相談対応 2. 産業医・相談医の助言を得ながら心と体の健康づくり計画の企画、立案、評価・改善、教育研修等の実施関係者との調整などの実務を担当し、金庫における心の健康づくり活動を中心的に推進する。 3. 原則として1年に1回の職員面談の実施(金庫業務の繁忙および職員の不在等でやむを得ず実施できない場合はこの限りではない)
産業医	1. 心と体の健康づくり計画の企画・立案および評価への協力 2. 職員・管理監督者からの相談対応と保健指導 3. 職場環境等の評価と改善によるストレスの軽減 4. 職員・管理監督者等に対する情報提供および教育研修 5. 外部医療機関との連絡 6. 就業上の配慮についての意見
カウンセラー	職員およびライン管理者等の相談対応を行う。
保健衛生委員会 (労使選出委員で構成)	心と体の健康づくり計画の審議と進捗評価等を行い、継続的な活動を推進する。

※1…営業店は店課長、本部は総務人事部長  
※2…営業店は副支店長・次長、本部は部長が任命した役席

## ■体制と役割図





